



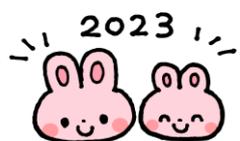
1月くれよんクラブ

第46号
発行日：令和5年1月

新春のお慶びを申し上げます。新しい一年が、お子様にとって、また保護者の皆様にとって笑顔があふれる年になりますよう、お祈り申し上げます。今年もよろしくお願ひいたします。

1月の目標

わがんあいご
和願愛語



～笑顔で
話しましょう～

1月生まれは2名です

おたんじょうび おめでとう★

1月 予定

◎1/1 (日)～3 (火)	定休日
◎1/9 (月)	成人の日
◎1/19 (木)	避難訓練

◎自分で考えて行動するためのチャレンジ・失敗は大人になるための練習

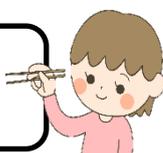
子どもは失敗体験を重ねながら、自分で考え、繰り返し挑戦することで「生きる力」を身に付けて行きます。また、「自分でやろうと意欲が出てくる時期」です。今回は「大人になるための準備」をテーマに子ども自身が自主的にチャレンジ・取り組む事を意識できるよう、大人が意図的に働きかけ、見守りながら関わるポイントを紹介します。子どもがチャレンジを繰り返せるように、一緒に見守り、応援していけたらと思います。

～本：大人になるためのチャレンジより～

ポイント③「一人でチャレンジ」

例えば…

目標：お箸を使って一人で食べる



- ・鉛筆が正しく持てるようにする。
- ・スプーンやフォークを鉛筆持ちで持って食べる。
- ・手にピッタリの長さのお箸を用意し、お箸の持つ方を学ぶ。

段階的に支援を少なくしていきます

★お箸を思うようにうまく使えず、「どうすればいいのか？」分からない場合は、
本人が自信を持ってできる段階まで戻り、つまずきの原因を観察しましょう。
 一つのやり方でうまくいかなくても、別のやり方で挑戦したら、成功するかもしれません。
「今のピンチは、将来のチャンス」と思っ
 て、沢山の方法を模索してみましょう。

学習は大きく分けて「試行錯誤して学習する」「周りを観察して学習する」の2種類！
 試行錯誤して学習する中では失敗はつきもの…「できた！」→「これもできた！」と
 積み重ねると、「じゃあちょっと難しいこともやってみよう」とチャレンジ精神が湧くこと
 が多いです♪あまりヒントが多いと、「自分の力でできた」と感じにくく、ヒントが少な
 すぎると「できない！」と感じてしまうかもしれません。子どもが成長するために、必要
 かつ、最小限の頻度はどのくらいか…親や支援者の永遠のテーマでもありますね(；^ω^)



心理士 K